



川西市議会議員

ふくにし 勝

活動報告 第 64 号

2026 年 秋号 発行責任者：ふくにし勝後援会 会長 原 龍生

令和8年第4回川西市議会(9月定例会)が8月24日(月)から9月17日(木)まで開催されました。

また閉会中の継続審査では令和7年度決算審査が9月24(木)から9月29(火)まで開催されました。

私は令和7年10月27日(月)の臨時市議会において副議長に選出されたことから、慣例により定例会での一般質問を行えません。

そこで私が水道事業会計と下水道事業会計で質問した内容について報告させていただきます。

川西生まれ! 川西育ち!!

水道施設(配水池)の広域化

人口が減少し水需要も減少しています。また水道の様々な施設が老朽化しています。

市内には 21 箇所・28 池の配水池が整備されていて建替えが進んでいます。

その際に費用の削減を兼ねて容量を少なくし、新たな配水池を整備しています。

萩原台配水池には3池あり、1 号池(3,000 m³)は既に建替えが終わりました。

令和 6・7 年度には2号池が 2,000 m³→3,000 m³と拡大され、令和 11 年度

には3号池(2,800 m³)の廃止が予定されています。

そこで3号池を宝塚市へ広域化する意見を言わせていただきました。

宝塚市の東地域(雲雀丘)は川面浄水場から9kmあり、非効率な送水が行われています。

しかも全長の9割が非耐震管で、川面浄水場は令和 22(2040)年度に耐用年数が到来します。

伊丹市や三田市との広域化も検討し、使わない施設は減らし、必要な施設を耐震化する。

水道料金を守るために、先ず「水道施設の無駄」を無くすことが重要と考えます。



上下水道局の財政状況

純利益が毎年減少、資金残高も減少

令和 7 年度決算の純利益は約 1,27 億円で令和 6 年度決算の約 2,6 億円から半減しています。

また資金残高は約 46 億円となり、令和 6 年度から約 4.6 億円減少し、減少額も倍増しました。

今後の収支見通しは人口減少や水需要の減少が予測されることから、経営環境は極めて厳しく、更に安定給水を維持していくためには、引き続き水道施設及び老朽管の耐震化への更新に多額の費用が必要となります。

川西市の下水道は雨水と汚水の分流式

川西市の下水道は整備が遅かったため雨水と汚水が分かれている分流式となっています。

東京都や大阪市、神戸市、京都市などは合流式で川西市や伊丹市、宝塚市は分流式となっています。合流式は整備費が抑えられ、施工が容易であることがメリットではありますが、合流式の欠点を補うことから分流式が整備されました。

しかし雨水管と汚水管の総延長が長くなることで、維持管理に費用がかかることが考えられます。

雨水は国からの補助金で整備されていますが、汚水は下水道使用料で整備されています。

分流式の現状を含む水道・下水道の広報の拡充を意見しました。

下水道事業は水道事業の 1.8 倍の資産を持つ

水道事業は送水管や配水池など約 213 億円の固定資産を所有しています。

下水道事業は水道事業の約 1.8 倍の約 380 億円の固定資産を所有しています。

下水道事業会計決算書の貸借対照表には構築物や機器及び装置などの固定資産が雨水と汚水でまとめられて掲載されています。



福西 HP

伊丹市の下水道事業会計決算書には雨水と汚水が分けられて掲載されています。

そこで、わかりやすい決算書及び予算書であるべき観点から、川西市も伊丹市のように雨水と汚水を分けて掲載するよう意見しました。

川西市は坂道が多いので雨水ポンプ場や汚水ポンプ場が整備されていますし、79 箇所のマンホールポンプも整備されています。

子どもの笑顔があふれる街、川西!

下水道（雨水・汚水）整備の大きな課題

埼玉県の大規模な道路陥没事故において、下水道管（雨水・汚水）を止めて工事することができないことがわかりました。

水道であれば水道供給を止めて工事を行えますが、下水道は止められません。

また水道は水圧がかかっているため漏水の発見は早いのですが、水道に比べると下水道の漏水の発見は遅いのも大きな課題です

川西市は分流式のため 5m や 6m の下水道管はありませんが、直径 15 cm ～ 3m の雨水管渠総延長 243.2 km や直径 5 cm ～ 2m の汚水管渠総延長 540.6 km は埋設されています。

人口減少の中で老朽化した莫大な資産をどう維持するのが最大の課題と考えます。

ご意見・ご感想等ご連絡をお待ちしています。

【連絡先】 ふくにし勝後援会 〒666-0014 川西市小戸 1-6-12-303

Tel&Fax 072-744-2803 携帯 090-4766-2203

プロフィール 昭和54(1979)年7月20日生まれ(47歳)

鶴之荘幼稚園卒園、川西小学校、緑台中学校卒業、大商学園高等学校卒業。

学生時代は野球に没頭する日々。その後はスノーボードインストラクター、会社員時代には清和台中学校陸上競技部の外部コーチを務める。

衆議院議員公設秘書を経て、平成 22 年川西市議会議員選挙初当選。